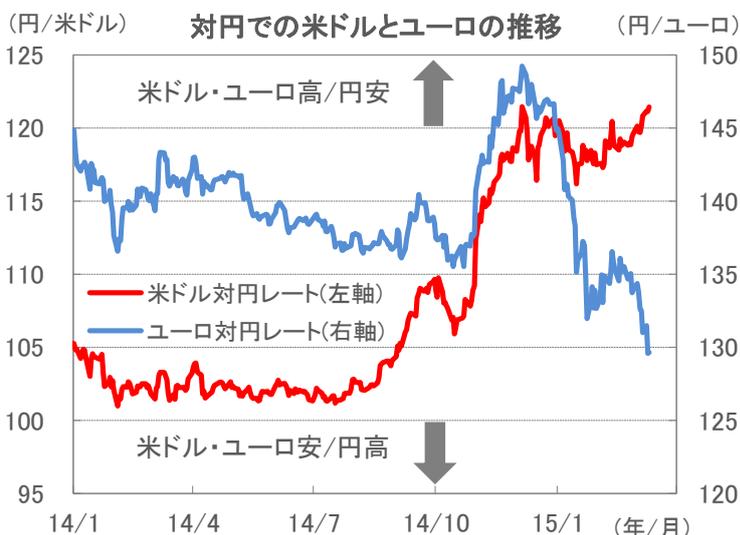


## 今日のトピック 新興国通貨の動向 世界経済の回復に伴い、次第に落ち着く展開へ

### ポイント1 新興国通貨の下落傾向が強まる

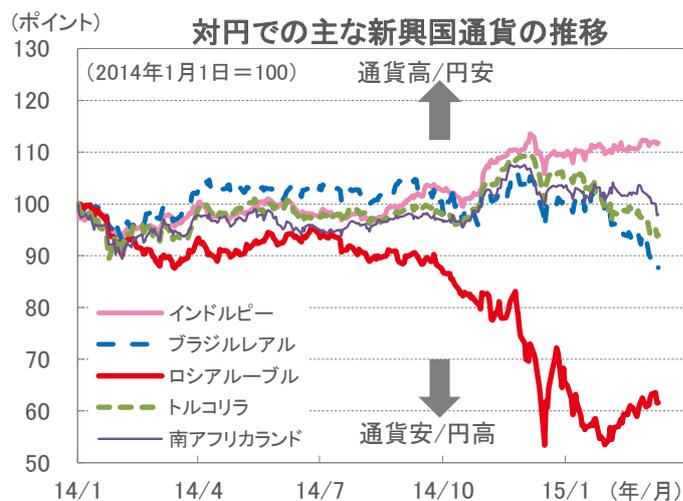
#### 米国利上げ観測が背景

- 新興国通貨は、米国での利上げ観測などを背景に足元で下落しています。10日の市場では(ニューヨーク時間17時時点)対円でロシア・ルーブルが前日比▲3.1%、ポーランド・ズロチが同▲2.4%、南アフリカ・ランドが同▲2.3%などとなりました。
- 米国での利上げ観測を背景に米ドルが上昇基調を強める中、財政や経常収支の赤字に不安がある国の通貨を中心に下落圧力が強まっています。



### ポイント2 ロシア・ルーブルが大幅下落 インド・ルピーは小幅な下落にとどまる

- ロシアでは、これまでの原油安や欧米諸国による経済制裁などから、政府の税収減や経常収支の改善の遅れが見込まれており、ルーブルは足元では下げ止まり感はあるものの昨年来の下落幅は主要新興国通貨と比べて大きくなっています。ブラジル、南アフリカの通貨も財政収支や経常収支の赤字を背景に下落基調を強めています。
- ポーランドやハンガリーなど東欧の新興国通貨は、欧州中央銀行による量的金融緩和を背景にユーロが下落基調にあることも要因となり、対円、対米ドルなどで下落圧力が強まっています。
- インドでは財政の健全化や経常収支の赤字が縮小していることなどを背景に、ルピーの下落は小幅にとどまっています。



(注) 上下図表のデータは2014年1月1日～2015年3月11日。  
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

### 今後の展開 世界経済の回復に伴い、次第に落ち着きを取り戻す展開へ

- 米国では景気が底堅く推移していることから、今年半ば以降に利上げが見込まれます。利上げ時期や利上げ幅の見方が新興国通貨を見る上でも引き続き注目されます。
- 世界経済の回復により新興国経済も安定に向かうと見られます。個別国の動向には注意が必要となるものの、新興国通貨は世界経済の回復に伴い次第に落ち着きを取り戻すと思われます。

#### ここも チェック!

2015年03月11日インドに向かう「世界の投信マネー」(アジア)  
2015年02月02日ロシアが利下げ、ルーブル安が加速

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。